

下水道事業会計状況調書

I 事業概要

公共下水道事業においては、昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、事業の推進に努めており、平成30年度についても、老朽化した施設について改築更新を行うとともに、大雨災害の防除を目的とした浸水対策などを行う。

また、個別排水処理施設事業においては、公共下水道による整備区域以外などを対象に、生活排水対策の推進のため、市が浄化槽の設置を進めており、平成30年度においても、住民の要望に基づき浄化槽の設置を行う。

II 事業内容

1 公共下水道事業

管渠については、汚水事業として、既設管のたるみが著しい常盤町地区の汚水管渠の改築更新などを行うほか、雨水事業として、常盤町地区において雨水管渠の新設工事などを行う。

若山浄化センターについては、供用開始から28年を経過し、主要設備機器の老朽化が進んでいることから、下水道長寿命化計画に基づき、前年度に引き続き、機械設備等の改築更新などを行う。

管渠建設費 505,914 千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 414,302 千円

(2) 委託料 60,492 千円

(3) その他 31,120 千円

処理場建設費 204,952 千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 68,600 千円

(2) 委託料 126,600 千円

(3) その他 9,752 千円

2 個別排水処理施設事業

下水道計画区域以外の地域などを対象に、浄化槽10基の整備を計画する。

個別排水処理施設整備費 16,100 千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理施設整備費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 16,100 千円